

新型コロナウイルス対策推進中 COVID 19

感染の第6波は高止まりしており、今回は近隣での感染も多いことから不安な気持ちが増してしまいます。不安を少しでも和らげるため地域で暮らす一人一人が出来る限りの感染対策を行っていきましょう。

新型コロナウイルスは空気中の飛沫による感染が多く、予防策としてはマスク着用と換気、密を避けることが重要視され、ワクチン接種も発症や重症化を防ぐ対策となっています。接触感染については、オミクロン株はこれまでの株と比べ皮膚やプラスチック表面などでの生存期間が長くなっている、アルコールへの耐性が強まっているという研究結果もあり、手指消毒や環境消毒など複数の対策を行っていくことが必要と思われます。

一年前に言われていた「ハッピーバースデー」を歌いながら時間をかけて手を洗うことにも取り組んでみましょう。

症状はこれまでとは傾向が異なってきており、のどの痛みを訴える方が多く、においや味がしないと訴える方が少なくなっているようです。鼻水・鼻づまりの症状もあることから花粉症との見分けも難しいものとなりそうです。



デイサービスでの節分

節分イベントで使用したダンボール鬼を被って記念撮影、現れた鬼を追い払うなど楽しく厄払いを行いました。



アドバンス・ケア・プランニングについて

先日、きくがわ医療・介護連携多職種研修が開催され「私のこれからノート」の紹介がありました。各市町で進められているようですが、アドバンス・ケア・プランニングと言われ「あらかじめケアのことを話し合って計画しておく」というものになります。エンディングノート同様記入することを目標とすると取り組みが進まないものですが、ノートをきっかけに「これからのこと・これまでの思い」について家族や主治医と話をするきっかけになると良いと思われます。



食事の前の口腔体操

食事の前には口腔体操を行っています。背筋・肩・首を伸ばし身体をほぐしてから、「パ・タ・カ・ラ」と発声、おいしい食事をさらにおいしく味わうことにつながると思います。また障がい者デイサービスでは、体操の進行役をご利用者さんが行ってくれています。

